■2016年からの会費年額の改定について

2016年からの会費年額の以下の改定が第95回定時総会（2015年3月31日）第7号議案で承認されております（会誌70巻6号本会記事474頁をご参照下さい）.

正会員：12,000円（現行11,000円）

学生会員・正会員（大学院生）・シニア会員：8,000円（現行7,000円）

なお，本号「会告」欄「会費年額改定と物理学会の財政状況について」も合わせてお読みください.

ご協力のほど，どうぞよろしくお願い致します.

■第71回年次大会・講演募集掲載号

大会案内の会誌への掲載は次のとおりです.

・11月号：講演募集要項

・3月号増刊号：プログラム冊子

■第71回年次大会の企画募集

第71回年次大会（2016年3月19日～22日，東北学院大学泉キャンパス）の企画を募集します.

I.　総合講演講師候補の募集

第71回年次大会において総合講演（2016年3月20日（日）（大会2日目）午前，イズミティ21）を依頼したい企画をお持ちの会員は，所定の用紙により下記期日までにお申し出下さい．また，所定の用紙は本会ホームページ（URLは本号表紙参照）から入手されるか，または本会事務局にご請求下さい．ご提案については，理事会で審議し決定します．なお，講演者には下記の通り謝金，旅費を支払います.

注：今回，総合講演の開催日は例年の大会3日目午前ではなく，2日目（3月20日）午前となっております.

記

提出期限：10月30日（金）

謝 金 額：30,000円（手取り）

旅　　費：本会規定による金額（詳細は本会事務局まで）

II.　領域「物理と社会」におけるシンポジウムの企画募集

物理のコミュニティ全体に関わるような問題，本会から社会に向けて発信すべき事柄等で既存の領域に含まれないテーマについて扱う領域として「物理と社会」を設けています．この領域設置の背景，当面の方針，運営方法等につきましては会誌57巻9月号710ページ「本会記事」欄をご参照下さい.

お申込は下記期間中，下記URLにてお願いします．登録完了後，登録番号及びパスワードがメールで送られますので，内容をご確認ください．（受付期間中はご提案頂いた内容について何度でも修正可能です.）

記

URL：https://www.gakkai-web.net/gakkai/jps/session/

受付期間：2015年10月2日（金）～10月23日（金）

III.　招待講演・企画講演・チュートリアル講演，シンポジウムの募集

III-a.　招待講演・企画講演・チュートリアル講演，シンポジウムの位置づけ

招待講演，企画講演，チュートリアル講演，シンポジウムの位置付けは以下の通りです.

1. 招待講演：すでに成果が挙げられた研究において，その研究の中心的な役割を担った研究者に一般講演よりも長い時間で行っていただく講演.
2. 企画講演：一般講演よりも長い時間で行う次のような講演.
   ・今後成果が期待される分野の研究者による新鮮なテーマ
   ・国際交流を視野に入れた講演
   ・各種受賞記念講演（若手奨励賞受賞記念講演を除く）
   ・その他，会員にとって魅力的な要素をもった講演
3. チュートリアル講演：他分野の研究者および大学院生等の初学者に対する解説を主とした講演．丁寧にわかりやすく講義形式で講演していただくために，招待・企画講演よりも長めの時間設定が可能.
4. シンポジウム講演：ある一つのテーマに沿って，様々な角度からそのテーマを代表する研究者に一般講演とは違った時間枠でしていただく一続きの講演.

これらはいずれも開催する領域の多くの会員が興味を持つとされるものを前提といたします.

III-b.　招待講演，企画講演，チュートリアル講演，シンポジウムの規則

1. **自薦提案の禁止**：招待講演，企画講演，チュートリアル講演を通じて，提案者と講演者（推薦理由に掲げる論文の共著者を含む）が同一の提案書は審査の対象としない.
2. **重複登壇の禁止**：招待講演，企画講演，チュートリアル講演，シンポジウムを通じて講演登壇は1回とする（シンポジウムでの10分以内の「趣旨説明」や「まとめ」等の登壇は，ここでいう講演とはみなさない）．ただし，特別な理由がある場合に限り，領域委員会の審議および理事会の承認により許可することがある（この場合，重複登壇する登壇者の了解のもとで，関連する企画の提案者の連名で，重複登壇せざるを得ない理由を記した理由書を提出すること）.
3. **提案者の責務**：シンポジウム提案者は，10分以内の「趣旨説明」または「まとめ」の登壇者として加わることができる．また，当該企画が滞りなく開催されるよう座長の一人としての任を果たすとともに，概要集原稿や会期後の報告にも責任を持って協力することとする．また，総合討論やパネル討論等を設ける場合は，提案者は，パネリストとしてではなく，座長もしくは司会者という立場でのみ加わることができる.
4. **シンポジウムにおける所属重複規制**：シンポジウムを構成する講演（「趣旨説明」や「まとめ」等を除く）は，一つの所属に偏らないことを原則とし，一つのシンポジウムで同じ部門（学科・専攻など）から2名以上の講演者が含まれている場合は，特別な理由がなければ認められない（特別な理由とは，異なる研究グループに属し，実験と理論など専門が異なる場合で，シンポジウム遂行にとって重要な講演者と判断できる場合とする．なおシンポジウムの講演者所属欄において，所属を略称表記すると同一になってしまうものは，違いがわかるように研究グループ名や研究室名まで記載すること）．さらに，シンポジウムにおいて，「趣旨説明」や「まとめ」等の登壇者と講演者が同一研究室であることは認められない．また，提案者と講演登壇者が同一研究室である場合も審査の対象としないことがある.

※シンポジウムは，特定グループの広報の場ではなく，重要なトピックについて広く議論を進める場です．所属重複規制は，同一グループの広報の場にならないように設けた規則です.

5. **シンポジウムにおける占有時間規制**：素核宇ビーム領域においては，休憩時間を含めて原則として3.5時間に収めるもの

©2015 日本物理学会

とし，4時間を超えてはならない．物性関係においては，休憩時間を含めて原則3.5時間以内とする．

6. その他の約束ごと：

1） 招待講演，企画講演，チュートリアル講演，およびシンポジウムにおける講演の登壇者（およびプログラム記載）は1名に限るとする．

2） 講演概要集の原稿はシンポジウムの「趣旨説明」や「まとめ」も含めて各登壇者2枚までとする．

3） 提案者は，予め，講演者の方々に候補として推薦する旨の内諾を得ておく．（重複登壇回避のため．）

4） 海外在住の講演者の方については，原則として提案者を通して連絡を取るようにする．（提案者以外の方が仲介者となる場合には，その旨ご連絡下さい．）

5） 前回の大会とあまり内容の変わらない招待講演，企画講演，チュートリアル講演ならびにシンポジウムは原則採択されない．

III-c. 招待講演・企画講演・チュートリアル講演，シンポジウムの提案方法

提案方法は，素核宇ビーム領域と物性領域とで，異なります．下の記述に従ってそれぞれ，提案を募集します．なお，提案申込書には

1） 見込まれる聴講者数，講演希望日程，講演不可日等の事項を必ず記入すること（領域によっては複数の企画を並行して開催できないために講演希望日などの希望に沿えないことがあります．講演日やその他の希望がある場合は，必要に応じて，提案者は領域運営委員に連絡をとるようにして下さい）．

2） 登壇者の会員番号（非会員の場合はその旨を記入）と電子メールアドレスを必ず記入すること．

を徹底するようお願いします．

1. 素核宇ビーム領域

素核宇ビーム領域における招待講演，企画講演，チュートリアル講演，シンポジウムの企画は従来通り領域運営委員を中心として企画された後，素核宇領域プログラム小委員会および領域委員会において提案・審議され，理事会において実施する企画が決定されます．

各領域運営委員の氏名と所属は，次の通りです．

素粒子論領域：	淺賀岳彦（新潟大自然科学）
	青木保道（名大素粒子宇宙起源機構）
	吉田健太郎（京大理）
素粒子実験領域：	西田昌平（KEK素核研）
	市川温子（京大理）
理論核物理領域：	鈴木克彦（東理大理）
	木村真明（北大理）
実験核物理領域：	中野健一（東工大院理工）
	吉見彰洋（岡大極限量子）
宇宙線・宇宙物理領域：	郡　和範（高エネ機構）
	小汐由介（岡大理）
ビーム物理領域：	坂上和之（早大理工学術院）
	井上峻介（京大化研）

2. 物性領域

物性関係における招待講演，企画講演，チュートリアル講演，シンポジウムの企画を以下の通り一般会員から公募します．提案を希望する方は，次のURLのホームページから受付期間内にお申込下さい．

URL: https://www.gakkai-web.net/gakkai/jps/session/

1） 物性領域に含まれる分野

領域 1：原子分子・量子エレクトロニクス・放射線
領域 2：プラズマ
領域 3：磁性
領域 4：半導体，メゾスコピック系・量子輸送
領域 5：光物性
領域 6：金属（液体金属・準結晶）・低温（超低温・超伝導・密度波）
領域 7：分子性固体
領域 8：強相関電子系
領域 9：表面・界面，結晶成長
領域10：構造物性（誘電体，格子欠陥，X線・粒子線，フォノン）
領域11：物性基礎論・統計力学・流体物理・応用数学・社会経済物理
領域12：ソフトマター物理・化学物理・生物物理
領域13：物理教育・物理学史・環境物理

2） 公募受付期間

2015年10月2日（金）～10月23日（金）

3） 提案申込方法

下記URLに受付期間中にアクセスし，お申込み下さい．登録が完了すると登録番号ならびにパスワードがメールで送られます．もし登録番号，パスワードがお手元に届かない場合は，登録時に入力したメールアドレスが間違っている，或いは，正常に登録されていないことが考えられますので，お問い合わせ下さい．

受付期間中は何度でも登録番号，パスワードによって提案内容を修正できますので，期間中に入力内容に変更が生じた場合は，速やか且つ確実に修正をお願いします．

URL: https://www.gakkai-web.net/gakkai/jps/session/

4） 提案する上での注意事項

上記「III-b. 招待講演，企画講演，チュートリアル講演，シンポジウムの規則」に従ってお申込ください．

5） 採択の手順

各領域において領域代表と領域運営委員が提案書を検討後，物性プログラム小委員会および領域委員会において提案・審議され，理事会において実施する企画が決定されます．各提案の採否の結果につきましては，提案者に後日通知します．

■2015年度公開講座

2014年はラウエ，2015年はブラッグ親子のノーベル賞受賞から100年目にあたります．X線及び電子は高校の教科書にも教材として取り上げられ，その波としての性質は物理学において最も重要な概念の一つです．最先端の研究では，X線及び電子に中性子，陽電子も加え，結晶構造からポリマーやタンパク質等の構造解析まで，幅広い研究が行われています．そこで，本公開講座では，波長，原子の散乱強度，スピンの存在等で特徴的な回折現象を示す「X線回折」，「電子回折」，「陽電子回折」および「中性子回折」の4つの分野にかかわる結晶と粒子線回折の過去・現在・未来について，可能な限り高校物理で扱われている内容，用語に立脚して講演を行います．

テーマ：「結晶と粒子線回折―ブラッグ反射100年」

日　時：11月7日（土）12 : 50～16 : 35

©2015 日本物理学会